

イエスさまのように 認め合い、仕える子どもを目指して

校訓 「だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもその通りにせよ。」



巻頭言 校長 増田 敦

台風2号が接近しています。この原稿を書いている現在(6/1)、風の音も強くなってきています。まだ、強く雨は降っていませんが、これから風雨が強くなっていくことだと思います。大きな被害でないことを祈るばかりです。

ものの「見方、考え方」という言葉があります。ある事象を「どのような視点(見)で捉えるか?」、そして、捉えたことを「どのように考えるか?」ということ表現しています。この「見方、考え方」はとても重要で、2020年度から始まった新学習指導要領では学習の際のキーワードとなっています。しかし、学校だけではなく日常生活においても大切なことではないかと思っています。

さて、先日あるネット記事を読んでいて次の言葉を見つけました。

心に刺さる言葉

「疲れた」は頑張った証拠	「失敗」は挑戦した証拠
「緊張する」のは本気の証拠	「笑える」のは楽しんでいる証拠
「怒る」のは真剣だった証拠	「泣く」のは我慢していた証拠
「つまづく」は成長している証拠	「もういい」は全然よくない証拠

お読みになって、皆様はどのような感想をお持ちでしょうか? 私ごとですが、私の子どもが小・中学生の頃、時々「疲れた」とか、「もういい」と言っていることがありました。そんな時、「まだまだ頑張れるでしょ!!」や「なに甘えたことを言っているんだ」と言ってしまうことも少なくありませんでした。

子どものことを考えて回答をしていたつもりではあったのですが、言ってしまった後に、もう少し違った言い方があったのではないかと反省することもしばしばでしたので、子どものことを考えたというよりも、「つい」言ってしまった、というのが本当のところだと思っています。そして、こういった場合、往々にして子どもの発言に対する見方に「思い込み」や「固定観念」があり、子どもの様子を見たり、本心を探ろうとすることもせず反射的に言葉を発してしまっていることが多かったように感じています。多面的に見る事、それを基に考えることの大切さを知っていれば、また違った回答になったかと、今思っています。

そういった意味において上述した「心に刺さる言葉」は私たち大人の見方、考え方を多面的にするヒントになるのではないかと思います。そして、これらの言葉を心に蓄えていけば、子どもの言葉に反射的に対応するのではなく、一度間をおいて、その言葉の意図や子どもが何を言いたいと思っているのかを探ろうとする余裕も生まれるのではないかと思います。なかなか簡単なことではないかと思うのですが、子どもの心を不用意に傷つけないための大人な取り組みとしていくことができると思っています。学校では日々様々な活動が行われます。子どもたちと一緒に学ぶ教師として適切な言葉を発していくことを心がけたいと思っています。

6月に入り暑い夏を感じるようになってきました。疲れも溜まっていく時期でもあると思います。皆様、どうぞご自愛ください。

◇ 漢字検定

すでに申し込みは終了していますが、6月9日（金）に第1回漢字検定試験を実施します。下校時のスクールバスの利用はできませんので、お迎えをお願いします。

日時

6月9日（金）15：45開始

◇ 三育まつり

昨年は、石川三育保育園をお招きして行うことができました。今年度は、みくにこどもの家の園児さんもお招きして小学生が準備したゲームを楽しんでもらいます。1年生もお兄さん、お姉さんとして活躍し、園児さんたちに三育小学校のことを知っていただく良い機会となっています。

日時

6月12日（月）午前中の時間

◇ 宿泊学習

5月は5、6年生が三育中学校に宿泊し、中学生や中学校の先生方とも良い交流をすることができました。6月は、3、4年生が宿泊します。良い学び、交流の機会となるようにと願っています。児童の安全と健康をお祈りください。

日程

6月29日（木）～30日（金） 3、4年生

宿泊先

沖縄三育中学校

◇ 保護者親睦会

すでにマチコミでお知らせしていますが、保護者親睦会が計画されています。アンケートは、**グーグルフォームで6月9日（金）が締め切り日**となっています。早めの回答をどうぞよろしくお願い致します。

日時

6月18日（日）10：00～11：30

場所

北谷ドーム（北谷屋内運動場）

【 学校目標 】

<年間>

「イエス様のように」

～認め合い、仕える子どもを目指して～

<1学期>

「礼儀正しい子ども」

<6月の目標>

「ていねいな言葉で話す子ども」

<6月の暗唱聖句>

「いつも、塩で味付けされた快い言葉で語りなさい。そうすれば、一人一人にどう答えるべきかが分かるでしょう。」コロサイ4：6

チャプレンコラム

「いつも、塩で味付けされた快い言葉で語りなさい。そうすれば、一人一人にどう答えるべきかが分かるでしょう。」コロサイ4：6(新約聖書) 塩がよく効いているかどうかは料理の良し悪しです。「売り言葉に買い言葉」のやりとりがエスカレートしそうなとき、最善の言葉はなんだろうか？と一呼吸おいて思いやりと勇気を加えた言葉に取り換えてみる。快い言葉は、まるでお相手と一緒に御馳走を食べているかのような雰囲気を作り出してくれるのではないのでしょうか。

チャプレン 植田祐幸

◇ 町田先生講演会

（聖書に基づく“生き方を問う”性教育）

日時

6月19日（月）9：30～11：30

場所

沖縄三育小学校

本日、学校通信と併せて講演会チラシを配布しました。是非、ご参加ください。